

(第四百十九號補綴)

# 海軍特別志願兵令

勅令第六百八號 昭和十八年七月二十七日

改正 昭和十八年十月 勅令第七百九十六號  
同 十九年五月 同 第三百四十六號  
同 十九年十月 同 第五百九十號

## 第一章 總則

第一條 戶籍法ノ適用ヲ受ケザル帝國臣民タル男子ニシテ海軍ノ兵役ニ服スルコトヲ志願スルモノハ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ銓衡ノ上之ヲ特別志願兵ニ採用シ海軍兵籍ニ編入ス

第二條 特別志願兵ノ服スベキ兵役ハ現役、豫備役及第一國民兵役トス

第三條 特別志願兵ノ兵籍ハ之ヲ其ノ本籍地ノ海軍特別志願兵徵募區ヲ管轄スル警備府ニ置ク

第四條 特別志願兵ノ採否ノ決定、再現役ノ許否ノ決定、轉役及免役ノ處分ハ在籍警備府司令長官之ヲ行フ

### ●參照

○海軍下士官兵再現役許否處分臨時特例

勅令第四十三號 昭和十九年一月二十日

大東亞戰爭中海軍ノ下士官及兵ニ對スル再現役許否ノ處分ハ海軍武官服役令第二十九條、海軍志願兵令第四條又ハ海軍特別志願兵令第四條ノ規定ニ拘ラズ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ其ノ者ノ所屬ノ艦船、部隊、官衙又ハ學校ノ長ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

海軍特別志願兵令

第一條乃至第九條

四百五十七

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五條 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ服役スルコトヲ得ズ

第二章 服役

第六條 特別志願兵ノ現役ハ三年、豫備役ハ十二年トシ現役ヲ終リタル者ハ別ニ辭令ヲ用ヒズ之ヲ豫備役ニ服セシム

豫備役ヲ終リタル者ニシテ年齢四十五年ニ滿ツル年ノ三月三十一日ニ達セザルモノハ別ニ辭令ヲ用ヒズ之ヲ第一國民兵役ニ服セシム

第七條 現役期間ハ服役シタル月ノ一日ヨリ之ヲ起算ス

第八條 現役特別志願兵ハ第六條ニ規定スル現役期間滿ツルモ引續キ數次再現役ヲ志願スルコトヲ得

海軍特修兵令ニ依リ服役ノ義務ヲ有スル者ハ第六條ニ規定スル現役期間滿ツル日ノ翌日ヨリ其ノ義務ノ終ル日迄ヲ一期トシ再現役ニ入りタルモノト看做ス

第九條 海軍志願兵令第九條、第十條、第十一條第三項、第十二條、第十三條、第十六條乃至第十八條及第二十一條、兵役法第十九條、第二十條及第二十一條第一項並ニ兵役法施行令第三十六條乃至第三十八條及第四十一條第一號ノ規定ハ特別志願兵ノ服役ニ之ヲ準用ス但シ海軍志願兵令第二十一條並ニ兵役法施行令第三十六條及第三十八條第三項中鎮守府司令長官トアルハ警備府司令長官トス

●參照

○海軍志願兵令

第九條 志願兵ノ現役定限年齢ハ三十五年トシ四十五年ニ滿ツル年ノ三月三十一日ヲ以テ服役ノ終期トス

第十條 艦船部隊(學校、病院其ノ他之ニ準ズベキモノヲ含ム)ニ勤務ノ志願兵ハ各其ノ艦船部隊内ニ居住セシムルヲ例トス

第十一條第三項

再現役ハ二年ヲ一期トシ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ許可ス但シ二年以内ニ現役定限年齢ニ達スル者ハ其ノ定限年齢ニ達スル日迄ヲ一期トス

第十二條 再現役ヲ許可セラレタル兵再現役ニ入ル前六年未滿ノ懲役若ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ逃亡シタルトキハ其ノ許可ヲ無効トス

再現役ヲ許可セラレタル兵再現役中六年未滿ノ懲役若ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ逃亡シタルトキハ再現役ノ許可ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ但シ刑ノ執行ヲ猶豫セラレタルトキハ情狀ニ依リ其ノ效力ヲ失ハシメザルコトヲ得

第十三條 再現役中ノ志願兵軍紀ヲ紊リ又ハ品行不正ニシテ下士官ニ任用ノ見込ナシト認ムルトキハ現役ヲ免ジ豫備役ニ服セシムルコトヲ得

第十六條 左ニ掲グル期間ハ之ヲ現役期間ニ算入セズ

一 懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ刑ノ執行ヲ受ケタル日數

二 逃亡中ノ日數

第十七條 志願兵ニシテ海軍兵學校、海軍機關學校若ハ海軍經理學校ノ生徒ニ採用セラレタル者又ハ豫備役ノ志願兵ニシテ陸軍補充令第百十五條第一項第二號ノ生徒ニ採用

セラレタル者ハ其ノ入校ノ日ヲ以テ其ノ身分及服役ヲ免ズ

前項ノ規定ニ該當スル者生徒ヲ免セラレタルトキハ前ニ免セラレタル身分ニ復シ前ノ服役ヲ繼續セシム

第十七條ノ二 豫備役ノ志願兵ニシテ海軍豫備員ニ任用セラレタル者ハ其ノ任用ノ日ヲ以テ其ノ身分及服役ヲ免ズ

第十八條 志願兵現役ニ服シタル期間二年以上ニシテ刑ニ處セラレ又ハ懲罰處分ヲ受ケ改悛ノ狀ナキトキハ其ノ現役ヲ免ジ之ヲ豫備役ニ服セシムルコトヲ得

第二十一條 鎮守府司令長官ハ志願兵ニシテ一年以内ニ現役滿期ト爲ル者アルトキハ之ニ歸休ヲ命ズルコトヲ得

歸休ヲ命ゼラルル志願兵ニ關シテハ海軍大臣上裁ヲ經テ之ヲ定ム

### ○兵役法

第十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ服役ノ期間ヲ延長スルコトヲ得

一 戰時又ハ事變ニ際スルトキ

二 出師ノ準備又ハ守備若ハ警備ノ爲必要アルトキ

三 航海中又ハ外國ニ於テ勤務中ナルトキ

四 重要ナル演習又ハ特別ニ觀兵ノ舉アルトキ

五 天災其ノ他避クベカラザル事故ニ因リ已ムヲ得ザルトキ

前項ノ規定ニ依リ延長シタル期間ハ次ニ服スベキ兵役ノ期間ニ之ヲ通算ス

第二十條 在營中本人ニ依ルニ非ザレバ家族（戸主ヲ含ミ本人ト世帯ヲ同ジクスル者ニ限ル）ガ生活ヲ爲スコト能ハザルニ至リタルトキハ現役ヲ免除ス但シ故意ニ其ノ事故

ヲ作為シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十一條 現役兵、豫備兵若ハ補充兵ニシテ疾病其ノ他身體若ハ精神ノ異常ニ因リ當該兵役ニ服シ難キ者又ハ現役兵ニシテ前條ノ規定ニ依リ現役ヲ免除セラレタル者ハ之ヲ他ノ兵役ニ轉ゼシム但シ疾病其ノ他身體又ハ精神ノ異常ニ因リ兵役ニ堪ヘザル者ニ對シテハ兵役ヲ免除ス

(第二、第三項略ス)

○兵役法施行令

第三十六條 兵役法第十九條ノ規定ニ依ル服役期間ノ延長及其ノ解止ニ關シテハ主務大臣臨時之ヲ定ム但シ航海中又ハ外國ニ於テ勤務中ナルトキノ海軍兵ノ服役期間ノ延長及其ノ解止ハ在籍ノ鎮守府司令長官又ハ警備府司令長官之ヲ爲スコトヲ得

時機切迫シ主務大臣又ハ在籍ノ鎮守府司令長官若ハ警備府司令長官ノ命ヲ待チ難キ場合ニ於テハ第一百八條第一項ニ掲グル者ハ其ノ部下ノ者ニ對シ必要ノ期間ヲ限り服役期間ノ延長ヲ專行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ事實ヲ具シ速ニ主務大臣ニ報告スベシ

第三十七條 豫備兵、補充兵又ハ國民兵ニシテ戰時又ハ事變ニ際シ召集ヲ令セラレタル者應召ノ日ニ於テ豫備役、補充兵役又ハ國民兵役ノ期間ヲ過グルニ至ルベキトキハ前條ニ規定スル主務大臣ノ命又ハ召集解除ノ命アル迄其ノ服役期間ヲ延長ス

第三十八條 兵役法第二十一條ノ規定ニ依リ轉役スル者ノ服スベキ兵役左ノ如シ

- 一 現役兵ニシテ現役ニ堪ヘザル者在營三月以上ノ者ナルトキハ之ヲ豫備役ニ、在營三月未滿ノ者ナルトキハ之ヲ第一補充兵役ニ服セシメ兵役法第二十條ノ規定ニ依リ

●昭和七年律令第  
二號ハ本島人ノ戸  
籍ニ關スル件ナリ

現役ヲ免除セラレタル者ハ之ヲ第一補充兵役ニ服セシム

二 現役兵ニシテ現役及豫備役ニ又ハ現役及補充兵役ニ堪ヘザル者ハ之ヲ第一國民兵役ニ服セシム

三 豫備兵又ハ補充兵ニシテ其ノ役ニ堪ヘザル者ハ之ヲ第一國民兵役ニ服セシム  
前項各號ノ規定ニ依リ陸軍ノ歸休兵若ハ豫備兵又ハ補充兵ヲ轉役セシムルノ處分ハ召集ノ際若ハ部隊編入中又ハ陸海軍ノ病院ニ收容中ノ場合ニ限リ之ヲ行フ

兵役法第二十條及同法第二十一條並ニ前二項ノ規定ニ依ル陸軍兵ノ現役免除、轉役及兵役免除ノ處分ハ部隊編入中ノ者ニ付テハ聯隊長又ハ之ト同等以上ノ權アル部隊ノ長、其ノ他ノ者ニ付テハ聯隊區司令官又ハ陸軍兵事部長之ヲ行ヒ海軍兵ノ現役免除、轉役及兵役免除ノ處分ハ在籍ノ鎮守府司令長官又ハ警備府司令長官之ヲ行フ

第四十一條 兵役法第二十一條及本令第三十八條ノ規定ニ依リ轉役シタル者ノ服役期間左ノ如シ

一 現役ヲ免除シ豫備役ニ編入セラレタル者ノ豫備役期間ハ前ニ服役シタル期間ヲ通算シ陸軍ニ在リテハ十七年四月、海軍ニ在リテハ十五年ニ滿ツル日迄トス

二 現役ヲ免除シ補充兵役ニ編入セラレタル者ノ補充兵役ノ期間ハ前ニ服役シタル期間ヲ通算シ十七年四月ニ滿ツル日迄トス

### 第三章 徵募

第十條 特別志願兵ノ徵募ハ年齢十六年以上二十一年未滿（昭和七年律令第二號ノ適用ヲ受クル者ニ在リテハ二十五年未滿）ノ者ニ就キ之ヲ行フ  
前項ニ規定スル年齢ハ採用ノ年ノ十二月一日ニ於ケル年齢トス

第十一條 特別志願兵トシテ徵募スベキ海軍兵ノ兵種ハ左ノ各號ニ掲グル種別ニ從ヒ志願者ノ身材、技能、職業其ノ他ヲ參酌シ所管警備府司令長官之ヲ定ム

一 水兵

二 整備兵

三 機關兵

四 工作兵

五 衛生兵

六 主計兵

第十二條 左ニ掲グル者ハ特別志願兵ノ徵募ニ應ズルコトヲ得ズ

一 陸軍ノ豫備役及第一國民兵役ニ在ル者並ニ軍隊ニ於テ教育ヲ受ケタル第一補充兵

二 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者又ハ刑法第百八十五條ノ罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタル者

三 刑事被告人

第十三條 左ニ掲グル者ハ之ヲ特別志願兵ニ採用スルコトヲ得ズ

一 身體完全ナラザル者

二 志操確實ナラザル者

三 品行方正ナラザル者

四 略國民學校初等科修了程度以上ノ學力ナキ者

五 試験検査ニ合格セザル者

六 前各號ニ掲グル者ノ外海軍兵ニ適セズト認ムル者

第十四條 海軍大臣ハ朝鮮又ハ臺灣ニ於ケル特別志願兵徵募ノ爲海軍特別志願兵徵募區(以下之ヲ徵募區ト稱ス)ヲ定メ鎮海警備府又ハ高雄警備府ヲシテ之ヲ管セシム

第十五條 海軍大臣ハ各徵募區所管ノ警備府司令長官ヲシテ當該徵募區ニ於ケル特別志願兵ノ徵募ヲ掌理セシム

第十五條ノ二 海軍大臣ハ其ヲ定ムル所ニ依リ鎮海又ハ高雄警備府ノ司令長官ヲシテ内地ニ於ケル特別志願兵ノ徵募ヲ掌理セシム

第十五條ノ三 前條ノ場合ニ於ケル徵募検査ハ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ志願者ノ在留地附近ノ地方廳内又ハ其ノ所在地ニ於テ之ヲ行フ

第十六條 特別志願兵ハ採用ノ上ハ朝鮮又ハ臺灣ニ於テ採用シタル者ニ在リテハ所管警備府ノ海兵團ニ、内地ニ於テ採用シタル者ニ在リテハ大阪海兵團ニ之ヲ入團セシム

第十七條 海軍大臣ハ毎年採用スベキ特別志願兵ニ付其ノ兵種別及入團期別ノ員數ヲ定メ之ヲ所管警備府司令長官ニ告達ス

●參照

○海軍特別志願兵令施行規則

第十五條 警備府司令長官ハ管下徵募區ノ検査ヲ終了シタルトキハ海軍人事部長、海軍



徵募官及海軍徵募軍醫官ヲシテ志願者ニ就キ體格、學力、品行其ノ他ニ關スル検査及  
調査事項ヲ審査シ令第十七條ノ規定ニ依ル告達ト對照シテ採用者ヲ豫定セシムベシ

第十八條 特別志願兵ノ入團期日ハ四月一日及十月一日トス但シ海軍大臣ハ必要ア  
ル場合ニ於テハ之ヲ變更スルコトヲ得

第十九條 警備府司令長官ハ特別志願兵入團ノ際現役ニ堪ヘザル者ナルトキ又ハ特  
別志願兵トシテノ適性ニ乏シキ者ナルトキハ其ノ採用ヲ取消シ歸郷セシム

警備府司令長官ハ特別志願兵ニシテ入團ニ際シ疾病其ノ他避クベカラザル事故ニ  
因リ入團シ難キモノアルトキハ二十日以内其ノ入團ヲ延期スルコトヲ得

第十九條ノ二 警備府司令長官ハ特別志願兵入團期日後二月以内ニ缺員ヲ生ジタル  
トキハ其ノ補缺ノ爲更ニ特別志願兵ノ採用ヲ爲スコトヲ得

第十九條ノ三 特別志願兵ノ徵募検査所ニ要スル諸費、特別志願兵ヲ志願スル者ノ  
徵募検査ヲ受クル爲ノ旅費、特別志願兵入團ノ爲ノ旅費及附添ノ官吏吏員ノ旅費  
ハ之ヲ官給トス

#### 第四章 召集

第二十條 兵役法第五十四條、第五十五條、第五十六條第一項及第六十條乃至第六

十三條並ニ兵役法施行令第四章(第二百二十四條乃至第二百二十一條ヲ除ク)及第四百四

三條ノ規定ハ特別志願兵ノ召集又ハ簡閱點呼ニ之ヲ準用ス但シ同令第四百二十二條  
中本籍所在ノ師管又ハ鎮守府管區トアルハ本籍所在ノ徵募區、他ノ師管又ハ鎮守  
府管區トアルハ他ノ徵募區(海軍志願兵ノ徵募區ヲ含ム)ハ當該師管又ハ鎮守府管

區トアルハ當該徵募區、鎮守府司令長官トアルハ警備府司令長官若ハ鎮守府司令長官トシ其ノ他ノ規定(第百十八條第一項第二號ヲ除ク)申鎮守府司令長官トアルハ警備府司令長官トス

●參照

○兵役法

第五十四條 歸休兵、豫備兵、補充兵又ハ國民兵ハ戰時又ハ事變ニ際シ必要ニ應ジ之ヲ召集ス

第五十五條 歸休兵ハ在營兵ノ補闕其ノ他必要アル場合ニ之ヲ召集スルコトヲ得

豫備兵ハ警備其ノ他ノ必要ニ因リ歸休兵ヲ召集スルモ尙兵員ヲ要スル場合ニ之ヲ召集スルコトヲ得

第五十六條 豫備兵ハ勤務演習ノ爲五回以内之ヲ召集スルコトヲ得

(第二、第三項略ス)

第六十條 歸休兵、豫備兵、補充兵及國民兵ニ對シテハ毎年一回簡閱點呼ヲ行フコトヲ得

第六十一條 歸休兵、豫備兵、補充兵又ハ國民兵ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ對

シテハ勤務演習召集又ハ簡閱點呼ヲ免除スルコトヲ得

一 餘人ヲ以テ代フベカラザル職ニ在ル官吏又ハ官吏待遇者

二 市町村長、助役、收入役其ノ他之ニ準ズベキ職ニ在ル者

三 帝國議會、府縣會、市町村會其ノ他之ニ準ズベキモノノ議員但シ其ノ會期中ニ限

ル

四 帝國外ノ地ニ旅行又ハ在留スル者

五 帝國外ノ地ヲ往復スル帝國船舶ノ船員

第六十二條 召集セラレタル者疾病其ノ他避クベカラザル事故ニ因リ召集ニ應ジ難キトキハ十日以内召集ヲ延期スルコトヲ得

召集セラレタル者第三十九條第一項各號ノ一ニ該當シ召集期日ニ召集ニ應ジ難キトキ又ハ前項ノ規定ニ依リ召集ヲ延期セラレタル者其ノ延期期間内ニ召集ニ應ジ難キトキハ召集期日又ハ召集年次ヲ變更ス

前二項ノ規定ハ簡閱點呼ニ參會ヲ命ゼラレタル者ニ之ヲ準用ス

召集セラレタル者入營ノ際行フ身體檢査ニ於テ疾病其ノ他身體又ハ精神ノ異常ニ因リ勤務ニ堪ヘズト認ムル者ナルトキハ召集期日若ハ召集年次ヲ變更シ又ハ召集ヲ免除ス

第六十三條 召集セラレタル者召集ニ因リ家族(戶主ヲ含ミ本人ト世帯ヲ同ジクスル者ニ限ル)ガ生活ヲ爲スコト能ハザルノ確證アル場合ニ於テハ召集ヲ免除ス但シ故意ニ其ノ事故ヲ作爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

○兵役法施行令

第一百十二條 陸軍ノ召集及簡閱點呼ハ本令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外召集及簡閱點呼ヲ受クベキ者ノ本籍地所管ノ師團長之ヲ掌ル

海軍ノ召集及簡閱點呼ハ本令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外在籍ノ鎮守府司令長官又ハ警備府司令長官之ヲ掌ル

第一百十三條 召集及簡閱點呼ハ令狀ヲ以テ之ヲ本人ニ通達ス但シ必要アル場合ニ於テハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ他ノ方法ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第百十四條 兵役法第五十四條ノ規定ニ依ル召集ハ陸軍ニ在リテハ動員令、海軍ニ在リテハ充員令ニ依リ之ヲ實施ス但シ必要アル場合ニ於テハ之ニ依ラザルコトヲ得

前項ニ規定スル召集ノ解除ハ陸軍ニ在リテハ復員令、海軍ニ在リテハ解員令ニ依リ之ヲ實施ス但シ必要アル場合ニ於テハ之ニ依ラザルコトヲ得

第百十五條 兵役法第五十四條ノ規定ニ依ル陸軍ノ召集要員ノ配當及其ノ他必要ナル準備ハ師管内ニ於テハ當該師團長、聯隊區内ニ於テハ聯隊區司令官之ヲ行フ

前項ノ規定ニ依ル配當ニ基キ召集スベキ者ハ前項ノ配當ニ基キ聯隊區司令官之ヲ定ム

兵役法第五十四條ノ規定ニ依リ海軍ニ於テ召集スベキ者（既ニ海軍ノ兵籍ニ編入セラレ居ル者ニ限ル）ハ鎮守府司令長官又ハ警備府司令長官ノ達ニ依リ海軍人事部長之ヲ定ム

第百十六條 兵役法第五十四條ノ規定ニ依ル召集ノ事務ニ關シ職責アル者ハ本令及主務大臣ノ定ムル所ニ依リ平時之ニ關シ遺漏ナク計畫準備シ召集實施ニ當リ支障ナカラシムルコトヲ要ス

第百十七條 兵役法第五十五條ノ規定ニ依ル召集ハ主務大臣ノ命ニ依リ又ハ其ノ認可ヲ受ケ師團長又ハ鎮守府司令長官若ハ警備府司令長官之ヲ行フ

第百十八條 左ニ掲グル者ハ時機切迫シ命ヲ請フ違ナキトキハ獨斷ヲ以テ兵役法第五十四條又ハ同法第五十五條ノ規定ニ依ル召集ヲ專行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ事實ヲ具シ速ニ主務大臣ニ報告スベシ

一 陸軍ニ在リテハ軍司令官、師團長、旅團長、守備隊司令官、聯隊長（獨立隊長ヲ

一 陸軍ニ在リテハ軍司令官、師團長、旅團長、守備隊司令官、聯隊長（獨立隊長ヲ

(第四百十九號補綴)

合ム)若ハ之ト同等以上ノ權アル軍隊指揮官、要塞司令官又ハ分遣隊長

二 海軍ニ在リテハ艦隊司令長官、艦隊司令官、鎮守府司令長官、警備府司令長官、特命司令官又ハ分遣艦船部隊指揮官

前項ノ場合ニ於テハ同項第一號及第二號ニ掲グル者ハ召集ニ關シ師團長又ハ鎮守府司令長官若ハ警備府司令長官ト同一ノ職權ヲ有ス

第百十九條 兵役法第五十六條又ハ同法第五十八條ノ規定ニ依ル召集ハ主務大臣ノ定ムル所ニ基キ師團長又ハ鎮守府司令長官若ハ警備府司令長官其ノ期日、人員、部隊及自

數ヲ定ム

第百十五條ノ規定ハ前項ノ召集ニ之ヲ準用ス

第百二十二條 簡閱點呼ハ之ヲ受クル者ノ本籍所在ノ師管又ハ鎮守府若ハ警備府ノ管區ニ於テ之ヲ行フ但シ必要アル場合ニ於テハ他ノ師管又ハ鎮守府若ハ警備府ノ管區ニ於

テ之ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該師管又ハ鎮守府若ハ警備府ノ管區ヲ管轄スル師團長又ハ鎮守府司令長官若ハ警備府司令長官之ガ簡閱點呼ヲ掌ル

第百二十三條 主務大臣ハ簡閱點呼ノ執行ヲ要セズト認メタル場合ニ於テハ其ノ執行ヲ爲サザルコトヲ得

第百二十四條 僻陬ノ地ニ於テ簡閱點呼ニ參會スベキ者僅少ナルトキ其ノ他已ムヲ得ザル場合ニ於テハ師團長又ハ鎮守府司令長官若ハ警備府司令長官ハ簡閱點呼ヲ省略スルコトヲ得

第百二十五條 師團長ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ基キ陸軍ノ簡閱點呼ノ時期及人員ヲ定メ

之ヲ聯隊區司令官ニ達シ且部下ノ兵科將校ニ簡閱點呼執行ヲ命ズベシ但シ師團長ハ

海軍特別志願兵令

第二十條

四百六十ノ四

部下ニ非ザル兵科將校ニ當該兵科將校ノ在職スル部隊ノ長ト協議シ簡閱點呼執行官ヲ命ズルコトヲ得

鎮守府司令長官又ハ警備府司令長官ハ海軍ノ簡閱點呼ノ時期及人員ヲ定メ部下ノ將校ニ簡閱點呼執行官ヲ命ズベシ但シ鎮守府司令長官又ハ警備府司令長官ハ部下ニ非ザル將校ニ當該將校ノ所屬長官ト協議シ簡閱點呼執行官ヲ命ズルコトヲ得

第二百二十六條 陸軍ノ簡閱點呼ノ場所、區域及日割ハ聯隊區司令官之ヲ定メ海軍ノ簡閱點呼ノ場所、區域及日割ハ海軍人事部長之ヲ定メ師團長又ハ鎮守府司令長官若ハ警備府司令長官ノ認可ヲ受クベシ

第二百二十七條 兵役法第六十一條第一號ニ掲グル者ノ勤務演習召集又ハ簡閱點呼ノ免除ニ付テハ當該官廳豫メ其ノ者ノ本籍地、寄留地、役種、兵種、徵集年、豫備役編入年、官等級氏名及理由ヲ具シ内閣總理大臣ノ認可ヲ受クベシ但シ内閣總理大臣ノ指定シタル者ハ其ノ認可ヲ受ケタル者ト看做ス

關東州、南洋群島(第二百二條第一號ノ規定ニ依リ陸軍大臣ノ指定スル地域ヲ除ク本章中以下之ニ同シ)、滿洲國、支那、香港、澳門、印度支那、「タイ」、「ビルマ」、「フィリピン」、「マライ」、「スマトラ」、「ジャワ」、「ボルネオ」又ハ主務大臣ノ指定スル占領地ニ旅行又ハ在留スル者ニ對シテハ勤務演習召集又ハ簡閱點呼ヲ免除セズ

前二項ノ規定ニ該當スル者ヲ除クノ外兵役法第六十一條ノ規定ニ依ル勤務演習召集又ハ簡閱點呼ノ免除ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ聯隊區司令官又ハ海軍人事部長之ヲ爲ス

第二百二十八條 師團長並ニ鎮守府司令長官及警備府司令長官ハ定期又ハ臨時ニ地方行政

應ノ召集事務(簡閱點呼ノ事務ヲ含ム)以下之ニ同ジテ檢閲シ又ハ部下ノ將官若ハ兵科  
佐、尉官(海軍ニ在リテハ將校)ヲシテ之ヲ檢閲セシムベシ

地方長官、憲兵司令官及憲兵隊長ハ其ノ所部ノ召集事務ヲ檢閲シ又ハ部下ノ官吏ヲシ  
テ之ヲ檢閲セシムベシ

第二百二十九條 地方長官ハ動員令又ハ充員令其ノ他召集ニ關スル通知ヲ受ケタルトキハ  
主務大臣ノ定ムル所ニ依リ召集ニ關係アル管下ノ官公署ノ長ニ之ヲ通知シ且召集ニ關  
シ必要ナル協力ヲ爲スベシ

第三百十條 召集事務ヲ管掌スル警察署長及支應長ハ聯隊區司令官又ハ海軍人事部長ヨ  
リ送付ヲ受ケタル召集令狀又ハ簡閱點呼令狀ヲ整備シ召集又ハ簡閱點呼ノ實施ニ當リ  
遺漏ナク關係ノ町村長ニ送付スベキ責ニ任ズ

前項ノ規定ハ市長ニ之ヲ準用ス

第三百十一條 市町村長ハ召集又ハ簡閱點呼ヲ受クベキ者ノ所在ヲ明ニシ召集令狀若ハ  
簡閱點呼令狀ヲ本人ニ交付シ又ハ其ノ命ヲ本人ニ傳達スベキ責ニ任ズ

第三百十二條 召集事務ニ關シ師團長又ハ鎮守府司令長官ノ定メタル規定ハ地方長官、  
憲兵隊長及其ノ所部ノ官吏公吏之ヲ遵行スベシ

地方長官ハ前項ノ規定ニ依ルノ外兵役法第五十四條ニ規定スル召集ノ準備又ハ實施ニ  
關シ師團長又ハ鎮守府司令長官若ハ警備府司令長官ヨリ臨時要求ヲ受ケタルトキハ之  
ニ應ジ又ハ自ら召集ヲ容易ナラシムルノ措置ヲ爲スベシ

第三百十三條 本章中地方長官ニ關スル規定ハ東京都ニ在リテハ警視總監ニモ之ヲ適用  
シ南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官ニ之ヲ適用ス

第四十二條ノ規定ハ召集事務ニ之ヲ準用ス

第三十三條ノ二 陸軍大臣ハ必要ニ應ジ内地ニ居住スル者ノ兵役法第五十四條又ハ第五十五條ノ規定ニ依ル召集ヲ居住地所管ノ師團長ヲシテ掌ラシムルコトヲ得

第三十四條 主務大臣ハ朝鮮、臺灣、關東州、樺太、南洋群島、滿洲國、支那、香港、澳門、印度支那、「タイ」、「ビルマ」、「フィリピン」、「マライ」、「スマトラ」、「ジャワ」、「ボルネオ」又ハ主務大臣ノ指定スル占領地ニ在留スル者ニ付行フベキ召集及簡閱點呼ニ關シ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第三十五條 本令ニ定ムルモノヲ除クノ外召集及簡閱點呼ニ關シ必要ナル事項ハ主務大臣之ヲ定ム

第四十三條 第八十條ノ規定ニ依ル身體検査竝ニ朝鮮、臺灣、關東州、南洋群島、滿洲國、支那、香港、澳門、印度支那、「タイ」、「ビルマ」又ハ「フィリピン」ニ在ル者ノ服役及召集ニ關シテハ主務大臣ハ朝鮮ニ在リテハ道知事、府尹、郡守、島司及警察署長、臺灣ニ在リテハ州知事、廳長、郡守及警察署長、關東州ニ在リテハ關東州廳長官及警察署長、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官及支廳長、滿洲國ニ在リテハ大使及大使館兵事員、其ノ他ノ地ニ在リテハ領事官ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ擔任セシムルコトヲ得

帝國外ノ地ニ在ル者ノ徵集延期ニ關シテハ陸軍大臣ハ南洋群島ニ在リテハ南洋廳支廳長、其ノ他ノ地ニ在リテハ大使、公使及領事官ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ擔任セシムルコトヲ得

町村ガ二以上ノ警察署ノ管轄區域ニ涉ルトキハ當該町村ニ於ケル召集事務ハ其ノ町村



役場ノ所在地ヲ管轄スル警察署長之ヲ行フ

警察署ノ管轄區域ノ變更又ハ市町村ノ廢置分合若ハ境界變更アリタル場合ニ於テハ當該區域内ノ召集事務ハ師團長又ハ鎮守府司令長官若ハ警備府司令長官ノ指定スル警察署長又ハ市町村長ヲシテ一時之ヲ行ハシムルコトヲ得

第五章 雜則

第二十一條 特別志願兵ニ對スル他ノ法令ノ適用ニ付テハ在籍鎮守府又ハ在籍鎮守府司令長官ニ關スル規定ハ在籍警備府又ハ在籍警備府司令長官ニ關スル規定トス

第二十二條 海軍大臣ハ内地ニ在リテハ地方長官及市町村長（東京都ノ區ノ存スル區域、京都市、大阪市、名古屋市、横濱市又ハ神戸市ニ在リテハ區長トシ町村長ニ準ズベキ者ヲ含ム）、朝鮮ニ在リテハ道知事、警察署長、府尹、區長及邑面長、臺灣ニ在リテハ州知事、廳長、郡守、警察署長及支廳長ヲシテ特別志願兵ノ徵募其ノ他本令施行ニ關スル事務ノ一部ヲ擔任セシムルコトヲ得

附則

本令ハ昭和十八年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和十九年五月勅令第三百四十號)

本令ハ昭和十九年八月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ特別志願兵ノ徵募検査所ニ要スル諸費、特別志願兵ヲ志願スル者ノ徵募検査ヲ受クル爲ノ旅費、特別志願兵入團ノ爲ノ旅費及附添ノ官吏吏員ノ旅費ハ本令公布ノ日以後ノ支給ニ係ル分ニ付之ヲ官

給下ス  
昭和十九年八月一日現ニ第一補充兵役ニ在ル海軍特別志願兵ニ付テハ仍従前ノ例  
ニ依ル

5002

2093